

半田病院 新改革プラン取組目標

平成29年度～32年度

基本方針**I. 救急・がん・災害・周産期小児医療を含む急性期医療を提供し、基幹病院の役割を果たします。****〈基本方策〉****①救急医療の強化****1 救命救急センターの充実****・救命救急センター内での早期診断を行い、迅速な緊急処置・手術を可能とします。**

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
救命救急センター受診者のトリアージ数によるトリアージ数が年間475件（27年度実績）。	救命救急センター受診者のトリアージ数によるトリアージ数の向上	救命救急センターの受診者のトリアージ数によるトリアージ割合を50%以上にする。	32年度

・救命救急センター利用の適正化を図ります。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
救命救急センター受診者約80%が1次救急患者。夜間・休日診療所定点化できていない。	医師会の夜間・休日診療所の定点化のための議論の推進	新病院建設時の病院内または院外での定点化を具体化する。	32年度

②先進的医療の充実**1 専門性の高い医療の導入****・必要な機器の整備、業務体制の構築を進め、より高度な医療提供を行います。**

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
がん診療連携拠点病院として認定されている。	施設認定継続要件を定期的に確認し、定期的な見直しの実施	がん診療連携拠点病院としての施設認定を継続する。	32年度
新病院で高精度な放射線治療を実現するために、開院前の早期から関連省庁への申請や届出が必要となる。	新病院の開院に向けた放射線治療装置の導入準備	開院後、早期に放射線治療を開始するには周到な準備が必要となるため綿密な導入計画を立案する。	30年度
病院職員には医療被ばくの管理を行っているが、患者向けの積極的な活動は行っていない。	医療被ばく低減認定施設の取得	認定の取得には周到な準備と期間を要するので、来年度を準備期間とし、翌年度に申請を行う。準備期間に心臓のカテーテル治療に代表されるIVR被ばく低減施設の取得を目指す。	31年度

体外循環技術認定士が不足している。平成28年現在、体外循環技術認定士1名。	心臓血管外科系学会認定修練施設（29年度申請予定）としての体制の構築	体制充実と手術増に対応するために体外循環技術認定士を1名増やす。	31年度
---------------------------------------	------------------------------------	----------------------------------	------

2 アドバンス・ケア・プランニング（意思決定能力低下に備えてのケア）普及啓発

・急性期医療に携わる職員にアドバンス・ケア・プランニングの概念の周知を図ります。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
平成28年度から「知多半島におけるACP研修会」に参加している。平成29年度は幹事として研修会を半田病院主催で開催予定。	アドバンス・ケア・プランニングについての院内外への普及啓発の実施	毎年、前年度ベースで研修会参加者数を増加させる。 研修受講者を対象とする検討会を定例開催でき、受講者の実践行動を明確にする。	32年度

③災害時の医療体制の整備

1 訓練の実施と災害時の連携強化

・様々な場面や状況を想定した訓練を、大小様々な規模で実施し、その都度課題を整理し改善を図っていくことで災害時の対応のレベルアップを図ります。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
巨大地震での被災時に全病院退避となった場合のマニュアルがない。	マニュアルの作成	巨大地震での被災時に全病院退避となった場合のマニュアル作成。	32年度

・知多半島医療圏全域の病院で災害対策に取り組み、関係機関との連携の強化や相互の支援体制の強化を進めます。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
県、市災害対策本部、DMAT調整本部を介した調整している。	域内災害拠点病院間の相互支援の計画策定	域内災害拠点病院間の相互支援の計画策定。	32年度
災害時の血液製剤の確保について、簡易な連絡法が設定されている。	日赤血液センターとの輸血製剤確保の確認	災害時にもスムーズな輸血製剤の確保のための体制確立及び、災害時用のマニュアル整備。	31年度

2 ライフライン停止時の対応

・災害の長期化等により燃料が枯渇した場合も想定し、ハード・ソフト両面で強化に努めます。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
災害用の検査機器は整備されていない。	災害時用検査機器の導入	必要性が十分認められる小型機器でバッテリー機能付の検査機器の整備。	32年度

3 被災直後の診療業務継続の実現

・災害時にも、診療情報が参照可能なシステムの提供に努めます。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
情報を遠隔地へバックアップし、参照システムを整備しているが周知が不足している。	電子カルテ停止時にも、診療情報を提供できる体制づくりの実施	<ul style="list-style-type: none">・システム周知・運用マニュアルの作成・リハーサルの実施	31年度

基本方針

Ⅱ. 安全で適切な医療を提供します。

《基本方策》

①医療事故発生の防止

1 医療安全マニュアルの徹底とヒヤリハットの活用

・医療安全マニュアルを簡素化（図式化）し、周知を徹底するとともに、ルールを守る組織風土を高め、マニュアルの徹底を図ります。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
マニュアルが十分周知されていない。平成27年度ラウンドにて正解率40%。	医療安全マニュアルの周知	ラウンドにて正解率90%以上。	32年度
マニュアルが複雑で解りにくい。	マニュアルの簡素化	解りやすいマニュアルの作成。	32年度
侵襲性のある検査すべてにタイムアウトは実施されていない。 (消化器内科2% 他90-100%)	侵襲性のある検査におけるタイムアウトの実施	侵襲性のある検査すべてにタイムアウトを実施する。	32年度
ルールを守らないため発生する患者誤認事例がある。	ルールを守らないために発生した患者誤認の減少	平成28年度後半よりルールを守らないため発生する患者誤認件数を明らかにし、次年度は件数を減少させる。	29年度

・セーフティレポート（インシデント・ヒヤリハット）の報告を推進し、検証・分析結果を職員に周知し、事故の未然防止、再発防止に努めます。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
平成28年前半期のレベル3 a 以上のレポートは、全体の8.5%である。	職員への研修、対策実施によるレベル3 a 以上のレポートの割合の減少	レベル3 a 以上のレポート8%以下の継続。	32年度
平成27年度の職員の医療安全管理委員会議事録の確認割合は50%。	議事録の周知ーラウンドにて職員の議事録確認チェック	職員の議事録確認割合が70%以上。	32年度

・全職員を対象に医療安全研修等を実施し、リスク感性の向上やチームワーク力の向上を図ります。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
27年度の医療安全研修・講演会への職員参加率71.4%。	リスク感性・チームワーク力の向上をめざした研修・講演会の実施（職員参加率70%程度）	医療安全研修・講演会への職員参加率を75%以上とする。	32年度

②患者満足度の向上

1 患者・家族対応やメディエーション能力の向上

・外部講師招聘による研修を実施し、接遇の向上に努め、相手の立場に立った対応ができるよう意識付けや環境の整備を図ります。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
院長への手紙等においても接遇に関する不満のご意見がある。	病院全体の接遇レベルの向上	新入職者・医師医療面接・中堅職員への接遇研修の実施。	32年度

・患者さんに対する十分な説明と傾聴姿勢を徹底し、患者さんの医療者に対する信頼確保に努めます。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
28年度前半期までに、医療メディエーション研修を医師の45.9%に対して実施している。	全医師に対して医療メディエーション研修を実施	全医師に対して医療メディエーション研修を実施する。	32年度
職員の一部に患者、家族に対する不適切な対応が見られる。	院内各部署ごとに接遇の問題点の洗い出しと改善策の立案、実践、評価	患者満足度調査法を変更し、詳細な評価をもとに各部署で改善に努める。	32年度

・診療、検査、会計等の待ち時間の短縮に務めるとともに、待ち時間等を少しでも快適に過ごすことができるよう環境の整備に努めます。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
検査科の待ち合い室での、待機中の患者に時間を有効活用してもらえない手段がない。	患者向け情報誌の作成	患者向け情報誌を4回/年 作成し、待ち時間を快適に過ごせる環境を整備する。	31年度

2 診療の質の向上

・安心・安全な医療提供のため、診療の質の向上に努めます。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
退院1週間後の量的監査のみ実施している。	診療録の質の向上への貢献	多職種でチームを編成し、質的監査を実施する。	30年度
輸血後感染症検査実施率30%。	輸血後感染症検査の実施率向上	輸血後感染症検査実施率50%。	32年度

③職員の安全の確保

1 暴言・暴力への対応強化

・暴言・暴力へは職員全体で毅然とした態度であたるものとし、警察をはじめとする関係機関と連携し、防止・解決を図ります。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
暴言・暴力への対応において、うまく連携がとられず、対応が後手に回ることによって状況の悪化を招く場合もある。	暴言・暴力への対応力の向上	1回/年以上警察官による対策講演会を継続開催する。	32年度

基本方針
Ⅲ. 地域の医療機関や介護施設等との連携を大切に、地域完結型の医療を提供します。

〈基本方策〉

①医療機関・介護施設等との連携強化

1 医師会や開業医との関係強化

・医師会とのさらなる関係強化、開業医との顔の見える関係づくりに努めます。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
紹介率：64.6% 逆紹介率：76.3%	紹介率・逆紹介率の向上	紹介率：70%以上 逆紹介率：85%以上	32年度
半田市医師会と年2回の意見交換会を実施している。	意見交換会の継続、拡大	半田市医師会だけでなく、医療圏内の他病院医師との連携を推進できるよう意見交換の場を設定し、顔の見える関係性づくりに努める。	32年度
事務職員6名で電話・FAX・受付に対応しており、時間帯によっては人手不足となる。	病診予約・返書管理のさらなる円滑化を図る。紹介受付の窓口となる事務職員の、地域診療所医師への周知を図る	業務の効率化をはかり、地域診療所からのインターネット予約も開始する。	32年度

②円滑な連携体制と地域医療の発展

1 適切な役割分担と知識やスキルの共有

・資格取得者の知識やスキルを地域の資源として効果的に活用できる取り組みを強化します。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
保健センターと協働で、H27年度より年1回住民健康増進活動に参加。	保健センターと協働で市民の健康増進活動	保健センターとの協働活動の継続と新規活動の構築。	31年度
知多半島医療圏内のがん分野認定看護師を中心に年2回の研修を企画運営している。	がん分野研修の企画運営	研修修了者が前年度より増加する。	32年度
葉葉連携勉強会を年6回開催。 (平均15名程度の参加者)	葉葉連携勉強会参加者の増	参加者人数を平均25名程度まで増やす。	32年度

2 地域医療連携推進法人の設立に向けた準備

・地域医療構想、地域包括ケアシステムを推進します。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
地域医療構想、地域包括ケアシステムを地域全体で推進する組織がない。	効率的な医療提供体制の確保のため、地域医療連携推進法人設立に向けた研究会の設立をめざす	地域医療連携推進法人に関する研究会の設立。	32年度

③地域・家庭を基盤にしたネットワークの構築

1 地域住民との連携の強化

・地域連携室の更なる人的充実や、ボランティアとの協働による取り組みにより地域住民との連携強化に努めます。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
退院支援看護師5名、医療相談員3名と不足し病棟配置が出来ない。	医療相談員の増員、退院支援看護師の養成	各病棟、救命センター・ICU・外来にもスタッフを配置し、入院早期から介入する。	32年度
セカンドライフフェスティバルにてボランティア募集をPR。半田病院だよりにてボランティア活動紹介。	市民に向けボランティアを募集し、ボランティア活動を広げる。	院内各部署にボランティア内容の希望を確認し、ボランティアの幅を広げる。	32年度

基本方針
IV. 教育・研修病院として豊かな人間性を有する医療人を育成します。

〈基本方策〉

①教育体制と環境の整備

1. 教育管理体制の強化

・院内における教育を一元的に管理するセンターの設置を図ります。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
各部門でそれぞれ研修・実習の管理を行っており、教育の質の担保がなされているとは言えない。また、各部門間の情報の共有がなされていない。	教育・研修にかかわる業務を統括的に管理する教育研修センターを設置する。センターの担う業務は、すべて業種・世代の病院職員（医師、看護師、コメディカル、事務職員など）と学生の教育・研修の管理、教育環境の整備、講演会・研修会等の企画と管理、教育に携わる職員の育成とする。	教育研修センターを病院の一部門として設置する。業務に当たる職員として、各領域の担当者のほかに、専任の事務職員を4名以上と兼務の事務職員を2ないし4名程度確保する。医師・看護師・コメディカル職員・事務職員に対し、教育に関するFD講習の受講と資格の取得を継続的に行う。	32年度

2. 教育を行う環境の整備

・教育環境の充実を図ります。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
医学生・研修医向けにスキルラボを設置している。	あらゆる職種が、考えうるすべての基本的重要な手技を研修できるよう、シミュレーションセンターの器材を充実させる。また、ハンズオンセミナーを実施する。将来的に手技の許可制を導入する下地を作る。	胸腔・腹腔・腰椎穿刺、各種注射手技（関節注射含む）、各領域の診断手技を習得できるシミュレーターを整備。	32年度
図書室があるが、量的に充実しているとはいいがたく、電子化がされていないジャーナルが多数ある。	各種文献の電子ジャーナル化を進め、その他図書に充てるスペースを確保する。また、必要な文献を整備できる予算を確保する。	ほぼすべての医学系ジャーナルの電子化を実現する。図書を充実させる。	32年度
オンライン環境が、院内の限られた部署で使用可能である。	治療の標準化・EBMの実践・望ましいケアに必要なオンライン検索システムがあらゆる場所でいつでも使用可能になるよう整備する。	医学・看護に関するオンライン検索システムを導入し、院内の広い部署で使用可能にする。	32年度

②持続的な人材育成

1. 専門的技能の習得の推進

・医療の質の向上のため、がんをはじめとする各領域の専門的な技能を身につけた人材の育成に取り組みます。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
各部門において各資格の取得が行われている。	専門資格の取得を計画的・継続的に推進する。	専門資格の取得、研究活動を推進する。また、その管理を教育研修センターが担うような仕組みを構築する。	32年度

2. 学生実習生の受け入れ

・医療者の教育機関として、学生教育に積極的に取り組みます。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
各部門において、学生の受け入れ、実習が行われている。	継続的に学生の受け入れをおこない、その実習内容も充実を図る。また、その管理を教育研修センターが担うような仕組みを構築する。	医師・看護師・コメディカル各部門で、学生の受け入れ行うとともに、その取り組みを広くアピールする。	32年度

基本方針
V. 常に健全な経営を意識して、安定した医療サービスを提供します。

〈基本方策〉

①戦略的病院経営

1 経営戦略に関する組織の設置、システムの構築

・経営企画室を基盤として、戦略的組織の構築を図ります。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
新たな診療報酬加算・新規事業のプランニングを行っている。	経営企画室の強化	DPCデータを分析し、各診療科への経営のアドバイスを行うことができる。また、新規事業の提案を行うことができる。	32年度
新病院構想について、各部署のヒアリングが終了。	安定した病院経営を行える新病院建築構想の具体化	①職員一丸となって基本構想～開院までのプロセスを踏む。 ②病院建設を加味した医療機器や検査機器の適切な導入。	32年度

・経営部門だけでなく、職員一丸となって経営の健全化に取り組みます。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
現場単位での経営を意識した活動はない。	現場での経営改善への取り組みの実施・評価	経営改善の各部署での活動を発表する。	32年度

2 病院経営形態の検討

・経営状況や経済・社会情勢を勘案し、最適な経営状態となるよう検討します。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
地方公営企業法を一部適応している。	地方公営企業法全部適用や独立行政法人への移行の検討及び移行する場合の最適な移行時期を検討する。	最適な経営形態の見直し及び移行時期の決定	32年度

②収入の確保

1 適切で誤りのない料金徴収

・未収金の削減、診療報酬における査定率の低減を図ります。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
電話及び文書による催告・督促を実施し、悪質な滞納者に対する法的措置を実施。 ・H28.5月末時点の徴収率 98.4%	医療費滞納者に対する早期対応を徹底し、新規発生未収金を抑制する。	すべての新規発生未収金への早期対応。 ・徴収率「99.55%」	32年度
実施したものについては自己査定することなく請求し、レセプト点検ソフトの活用や保険医療検討委員会における査定分析や返戻分析により、減点査定等への対策を講じている。	診療報酬の算定漏れ及び誤請求の防止	通年して査定率0.2%以下を継続する。 (医師が査定されるのを見越して請求したものを除く。)	32年度

2 患者数の確保

・新たなサービスを提供し、患者数の確保を図ります。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
健康診断では病気の特定は難しいので、目的に合わせたプランを選択できる人間ドックとして、脳ドックをH28.6月より開始した。	各種人間ドックの実施により、医療機器の有効利用と増収を図る。	骨粗鬆症等の診断を目的とした骨ドックを開始する。 (初年度目標数70名)	29年度

③費用の削減

1 診療材料費・薬品費・委託費の削減

・ベンチマークの活用や価格交渉力の向上により、診療材料費の削減を図ります。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年度
要望が多様化し、採用品目が増加している。	各科、各部門で使用する材料の整理と価格見直し	材料を多く使う各科・各部門で価格の大きいもの・使用量の大きいものの整理、価格見直し。	32年度
価格交渉により薬品費の削減に努めている。	価格交渉による薬品費の削減	削減率15%以上を継続する。	32年度

・薬品の有効活用、低価格薬の採用により、薬品費の削減を図ります。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 【A】	達成 目標年度
ジェネリック医薬品の使用割合平均80%	ジェネリック医薬品の使用量の増加	現状での限界値と考えられる使用割合80%以上の維持。	32年度
残薬調製件数が平均40件/月	残薬調製件数を増やし、無駄な薬剤費を抑える	平均70件/月	32年度

・保守・メンテナンス費用のコスト分析を行うなど、委託費の削減を図ります。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 【A】	達成 目標年度
更新する機器の高性能化による交換部品の高騰に加えて老朽化した装置における修繕の増加で、経費は嵩む一方である。	保守管理を委託する業者を一同に介して、修繕実績を踏まえた委託内容の見直し等について、年度ごとの契約に向けた交渉の場を設けて、経費の削減を図る。	委託費は消費税の増率分2%の値引き。もしくは、それ相応の保守内容における充足を図る。	30年度

＜共通重点項目＞

i. 人材の確保

① 医師・看護師の就労環境の改善

・メディカルアシスタント（医師事務作業補助者）等を確保し、医師業務の負担の軽減を図ります。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 【A】	達成 目標年 度
MA27名で20対1加算を取得。1名でも退職すると25対1となる。	医師事務作業15対1補助体制を目指した積極的確保と離職防止	5対1加算取得人員配置と外来業務以外での業務分担を加味し36名確保。	32年度

・看護師業務の負担軽減のため、看護助手等の確保に努めます。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 【A】	達成 目標年 度
直近3年間の離職率は29.8%①看護助手部会を月1回開催し職場環境や業務調整を実施、②ランチョンセミナーを開催しケアの実践能力向上や研修伝達をしている。	離職防止対策として、①職場環境の整備、②教育・研修支援を行う。	看護助手定員確保(日勤65名・夜勤21名)。	32年度

② 看護師の確保

・7対1看護の継続に向け、引き続き看護師の確保に取り組みます。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 【A】	達成 目標年 度
半田常滑看護専門学校155名25週間・人間環境大学生30名1週間・日本福祉大学35名3週間。	臨地実習の受け入れを積極的に行う。	半田市職員定数である、看護師数412名を確保する。	32年度
10月までに10名参加し3名就職。	看護師カムバック研修の開催。		
院外説明会2回参加し病院見学・インターンシップ参加者あり5名就職。	合同就職説明会へ参加する。		
高校生インターンシップ10日間実施116名が参加。	高校生インターンシップを継続し、修学資金制度の利用・就職に繋げる。		

③働き続けられる職場づくり

・就職希望者や職員にとって魅力ある職場づくりに努めます。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年 度
職場環境を見直し①離職率の低下、②女性のライフステージを加味した人員体制、③部署別見学会やインターンシップ制やレジデント制の導入をし人材確保や定着を図っている。	WLBの実現がもたらす好循環	離職率の改善。	32年度
心身の負担軽減を図るため①有給休暇取得、②時間外労働時間の減少、③業務改善をしている。		全部署で目標値を設定し達成する。	32年度

・職員のニーズを把握するため、満足度調査を実施し、改善に努めます。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年 度
調査結果を踏まえてアクションプラン3つを掲げ全部署で各目標値を設定し単年度評価をしている。	9月に職員満足度調査を実施	単年度毎のアクションプランの立案と達成。	32年度

ii. 広報活動・情報提供の充実、情報の共有

1 病院ホームページの充実

・病院ホームページを充実させ、治療実績や治癒率等が適切な評価が受けられるよう情報公開の充実を図ります。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 [A]	達成 目標年 度
掲載情報を検討中。	がん情報のホームページ掲載	ホームページ内に半田病院でのがんに関する取り組み紹介ページを作成する。	30年度
院内がん登録を厚生労働省に提出し、がん登録件数をホームページで公表している。	がん患者数・治療方法などを公表し、選んでもらえる医療機関となる。	ステージ別・治療方法の公表。	32年度

2 市民講座・ヘルスプロモーション

・医療提供だけでなく、病気に関する学びの機会を提供します。

現状・現状値	具体的取組み	目標・目標値 【A】	達成 目標年度
①がん市民講座を年間1回開催している(参加者80名) ②がんミニ講座を年5～6回程度開催している(参加者は毎回10名程度) ③がんサロンを月1回開催している。	がん診療連携拠点病院として、地域住民、患者対象の講座による積極的情報発信をおこなう。	①・②それぞれ年間100名以上の参加を得る。 ③毎月2回開催する。	32年度
毎月1回の定期開催を行っている。	いきいき健康講座の開催	月1回以上開催の継続。	32年度
地域住民を呼び込んでの情報発信に関する取り組みは行っていない。	半田病院体験ツアーの開催	取り組みを固定行事化し、地域住民から認識し、理解されるようになる。	32年度

共通重点項目

i 人材確保

◇医師正規職員採用計画

各年度末人数

	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
消化器内科	7	7	7	7	7	8
呼吸器内科	7	5	5	5	5	5
腎臓内科	3	3	3	3	3	3
糖尿・内分泌内科	3	3	3	3	3	3
神経内科	1	1	1	1	1	2
内科(その他)	2	0	0	0	0	0
循環器科	8	7	7	7	7	8
外科	9	10	10	10	10	10
心臓外科	1	1	1	1	1	2
脳神経外科	4	6	6	6	6	6
整形外科	6	6	6	6	6	6
リウマチ科	1	1	1	1	1	1
小児科	4	5	5	5	5	5
眼科	2	2	2	2	2	2
産婦人科	6	5	5	5	5	5
耳鼻咽喉科	3	3	3	3	3	3
皮膚科	2	2	2	2	2	2
泌尿器科	4	4	4	4	4	4
精神科	2	1	1	1	1	1
放射線科	1	1	1	1	1	2
歯科口腔外科	3	3	3	3	3	3
麻酔科	5	6	6	6	6	7
病理診断科	1	2	2	2	2	2
中央臨床検査科	1	1	1	1	1	1
リハビリテーション科	1	1	1	1	1	1
救命救急センター	2	3	3	3	3	3
緩和ケア科	0	0	0	0	0	1
血液内科	0	0	0	0	0	1
膠原病内科	0	0	0	0	0	1
総合診療科	0	0	0	0	0	2
合計	89	89	89	89	89	100

研修医	18	20	19	20	20	20
-----	----	----	----	----	----	----

共通重点項目

◇看護師・コメディカル正規職員採用計画 (各年度末)

	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (計画)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)
看護師	374	381	386	398	404	412
助産師	20	18	20	22	24	26
看護師	342	351	354	365	370	376
准看護師	12	12	12	11	10	10
医療技術員	99	107	111	115	118	117
薬剤師	20	20	22	24	25	25
放射線技師	21	24	24	24	25	25
臨床検査技師	25	26	27	28	29	29
理学療法士	8	10	11	11	11	11
作業療法士	3	4	4	4	4	4
医療技術士	1	1	1	1	1	1
管理栄養士	3	3	3	3	3	3
歯科衛生士	2	2	2	2	2	2
心理士	1	1	1	1	1	1
視能訓練士	3	3	3	3	3	3
臨床工学技士	8	9	9	10	10	9
言語聴覚士	4	4	4	4	4	4
事務職	33	31	38	38	38	38
事務員	23	20	23	23	23	23
診療情報管理士	4	4	6	6	6	6
医療福祉相談員	6	7	9	9	9	9
労務職	6	6	6	4	4	3
療務員	6	6	6	4	4	3

◇看護助手・メディカルアシスタント(MA:医師事務作業補助)

看護助手	55	59	75	86	86	86
MA	27	30	33	36	36	36

□看護職員離職率

	24年度	25年度	26年度	27年度
実績値	10.0%	7.3%	9.3%	8.8%
全国平均値	11.0%	10.9%	11.0%	10.8%

共通重点項目

ii 広報活動・情報提供の充実、情報の共有

		29年度				30年度				31年度				32年度			
		病院だより	市報ダイジェスト	HP	その他	病院だより	市報ダイジェスト	HP	その他	病院だより	市報ダイジェスト	HP	その他	病院だより	市報ダイジェスト	HP	その他
・救命救急センターの適正利用	計画																
	実績																
・クリニカルインディケータ	計画																
	実績																
・災害時の病院機能	計画																
	実績																
・患者アンケートの結果	計画																
	実績																
・院長への手紙の回答	計画																
	実績																
・医療安全への取組状況	計画																
	実績																
・かかりつけ医の推進	計画																
	実績																
・在宅医療の知識	計画																
	実績																
・地域医療連携室の活動状況	計画																
	実績																
・経営状況	計画																
	実績																
・新病院改革プラン評価結果	計画																
	実績																
・新病院建設事業の進捗状況	計画																
	実績																

※◎新規
○継続
数字は実施月

※病院だより：毎月発行
市報ダイジェスト：隔月年6回発行
HP：随時更新

《経営指標》

財務内容の改善に係る指標		第2次改革プラン					
		(実績値)	(計画値)	(実績値)	(計画値)	(実績値)	
項 目		27年度	28年度		29年度		
収支改善に係るもの	(1) 経常収支比率 (%)	103.6	103.0		103.0		
	経常収支比率(新病院影響抜き)	103.6	103.0		103.0		
	(2) 医業収支比率 (%)	103.6	102.1		101.7		
	(3) 職員給与費対医業収益比率 (%)	50.4	50.9		51.5		
	(4) 委託費対医業収益比率 (%)	9.2	9.5		9.7		
	(5) 経常損益額(千円)	427,476	372,925		366,428		
	経常損益額(新病院影響抜き)	427,476	372,925		366,428		
	(6) 資金不足額(千円)	0	0		0		
	(7) 資金不足比率 (%)	-33.2	-35.9		-40.3		
	(8) 減価償却前収支額(千円)	730,079	899,020		867,036		
(9) 100床当たり職員給与費(千円)	1,191,307	1,241,899		1,253,364			
経費削減に係るもの	(1) 医薬材料費(千円)	2,956,224	2,912,984		2,923,944		
	(2) 材料費対医業収益比率 (%)	25.1	23.9		24.1		
	(3) 100床当たり職員数	医師(人)	23.2	23.2		23.2	
		看護部(人)	96.7	96.7		97.7	
全体(人)		156.4	156.4		160.0		
収入確保に係るもの	(1) 入院延患者数(人)	135,079	138,700		135,050		
	(2) 外来延患者数(人)	238,071	240,570		239,120		
	(3) 一般病床利用率 (%)	74.0	75.9		74.1		
	(4) 平均在院日数(一般病床)(日)	10.2	10.2		10.2		
	(5) 入院患者一人1日当たり診療収入(円)	58,979	60,196		60,296		
	(6) 外来患者一人1日当たり診療収入(円)	13,725	13,599		14,299		
	(7) 医師一人1日当たり診療収入(円)	262,799	275,172		273,785		
経営の安定性に係るもの	(1) 純資産額(資産-負債)(千円)	11,515,824	11,967,991		12,496,332		
	(2) 現金保有残高(千円)	3,561,801	3,948,251		4,237,836		
	(3) 流動資産(千円)	5,792,261	6,477,263		6,837,440		
	(4) 流動負債(千円)	1,874,561	2,107,396		1,939,232		

医療機能の確保に係る指標		(実績値)	(計画値)	(実績値)	(計画値)	(実績値)
項 目		27年度	28年度		29年度	
(1) 5疾病5事業に係る取り扱い件数(取り扱い比率)						
がん(件)		1,614	1,614		1,614	
脳卒中(件)		508	508		508	
急性心筋梗塞(件)		113	113		113	
糖尿病(件)		143	143		143	
救急医療(件)		25,319	25,319		25,319	
周産期医療(分娩件数)(件)		445	445		445	
小児医療(小児救急含む)(件)		16,099	16,099		16,099	
手術件数(件)		3,836	3,836		3,836	
(2) 臨床研修医の受入人数(人)		10	10		9	

サービス向上に係る指標		(実績値)	(計画値)	(実績値)	(計画値)	(実績値)
項 目		27年度	28年度		29年度	
(1) 退院患者さんアンケート(入院全般)		84.2%	85.0%		86.0%	
(2) 外来患者さんアンケート(総括評価)		82.4%	83.0%		84.0%	

新改革プラン

(計画値)	(実績値)	(計画値)	(実績値)	(計画値)	(実績値)	
30年度		31年度		32年度		コメント
103.5		103.2		102.4		経常収益／経常費用×100：割合が高いほど評価が高い。
103.5		103.2		102.4		
102.5		102.6		102.7		医業収益／医業費用×100：割合が高いほど評価が高い。
50.8		51.0		51.5		職員給与費／医業収益×100：割合が低いほど評価が高い。
9.7		9.7		9.7		委託費／医業収益×100：割合が低いほど評価が高い。
431,484		396,195		301,922		経常収益－経常費用：プラスなら経常黒字
431,484		396,788		303,776		
0		0		0		流動負債－流動資産：プラスなら不足、マイナスならば0
-41.6		-35.3		-29.5		資金不足額／医業収益：マイナス数値が高いほど評価が高い。
946,967		1,163,776		1,000,415		事業収益－(事業費用－減価償却費)：大きいほど評価が高い。
1,239,738		1,260,333		1,280,927		職員給与費／病床数/100：小さいほど評価が高い。
2,934,962		2,971,004		2,995,923		薬品+診療費の合計費用
24.1		24.1		24.1		材料費／医業収益×100：割合が低いほど効率が高い。
23.2		23.2		23.2		一般的には同じ収益ならば職員数は低いほど良いとされるが、方針として医師や看護師は増員を目指しているので低評価。
100.1		101.3		102.9		
162.6		164.4		165.6		
135,050		135,420		135,050		患者数増加となると評価アップ。
239,120		239,120		238,140		〃
74.1		74.1		74.1		入院延患者数/年延病床数×100：割合が高いほど評価が高い。
10.2		10.2		10.2		1人の患者が入院に要する平均日数：低いほど評価が高い。
60,296		60,795		61,300		金額が高いほど高度治療を行うとして評価が高い。
14,399		14,595		14,795		〃
273,602		277,591		279,463		(外来+入院収益)/年延べ医師数：金額が高いほど評価が高い。
12,661,242		11,955,411		11,261,206		金額が高いほど評価が高い。
4,396,067		3,674,500		2,319,374		一定のレベルまでは、金額が高いほど評価が高い。
6,998,519		6,305,762		9,902,352		1年以内に現金化が可能とされる資産
1,935,402		1,948,475		6,239,270		1年以内に支払わねばならない借金

(計画値)	(実績値)	(計画値)	(実績値)	(計画値)	(実績値)	
30年度		31年度		32年度		
1,614		1,614		1,614		
508		508		508		
113		113		113		
143		143		143		
25,319		25,319		25,319		
445		445		445		
16,099		16,099		16,099		
3,836		3,836		3,836		
9		9		9		

(計画値)	(実績値)	(計画値)	(実績値)	(計画値)	(実績値)	
30年度		31年度		32年度		
87.0%		88.0%		89.0%		年2回実施するアンケート結果の平均値
85.0%		86.0%		87.0%		年2回実施するアンケート結果の平均値

《経営指標》

・収支計画

収益的収支

区分	年度	第2次改革プラン		28年度		29年度	
		27年度 (実績値)		(計画値)	(実績値)	(計画値)	(実績値)
収 入	1. 医 業 収 益 a	11,784,706		12,178,025		12,150,787	
	(1) 料 金 収 入	11,234,361		11,620,631		11,562,075	
	入 院 収 益	7,966,780		8,349,121		8,142,912	
	外 来 収 益	3,267,581		3,271,510		3,419,163	
	(2) そ の 他	550,345		557,394		588,712	
	うち他会計負担金	122,993		173,933		184,320	
	うち基準内繰入金	122,993		173,933		184,320	
	うち基準外繰入金	0		0		0	
	2. 医 業 外 収 益	545,732		581,901		592,740	
	(1) 他 会 計 負 担 金	85,703		80,379		109,175	
	うち基準内繰入金	85,703		80,379		109,175	
	うち基準外繰入金	0		0		0	
	(2) 他 会 計 補 助 金	182,413		162,669		121,062	
	一時借入金利息分	0		0		0	
	そ の 他	182,413		162,669		121,062	
	(3) 国 (県) 補 助 金	25,697		22,960		32,210	
	(4) そ の 他	251,919		315,893		330,293	
経 常 収 益 (A)	12,330,438		12,759,926		12,743,527		
支 出	1. 医 業 費 用 b	11,373,165		11,922,077		11,945,829	
	(1) 職 員 給 与 費	5,944,621		6,197,074		6,254,286	
	基 本 給	2,366,723		2,466,467		2,494,385	
	退 職 手 当	192,240		215,386		167,991	
	そ の 他	3,385,658		3,515,221		3,591,910	
	(2) 材 料 費	2,956,224		2,912,984		2,923,944	
	う ち 薬 品 費	1,513,655		1,527,206		1,494,201	
	(3) 経 費	1,810,462		1,911,844		1,877,468	
	う ち 委 託 料	1,089,280		1,159,057		1,180,987	
	(4) 減 価 償 却 費	618,290		850,228		841,155	
	(5) そ の 他	43,568		49,947		48,976	
	2. 医 業 外 費 用	529,797		464,924		431,270	
	(1) 支 払 利 息	42,817		45,991		37,661	
	うち一時借入金利息	0		0		0	
	(2) そ の 他	486,981		418,933		393,609	
	うち新病院建設に伴う経費	0		0		0	
	経 常 費 用 (B)	11,902,962		12,387,001		12,377,099	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	427,476		372,925		366,428		
※経 常 損 益 (新病院影響抜き)	427,476		372,925		366,428		

(単位:千円)

新改革プラン						成 果
30年度 (計画値) (実績値)		31年度 (計画値) (実績値)		32年度 (計画値) (実績値)		
12,184,599		12,327,307		12,410,624		
11,586,001		11,722,815		11,801,846		
8,142,912		8,232,859		8,278,565		
3,443,089		3,489,956		3,523,281		
598,598		604,491		608,777		
184,320		184,320		184,320		
184,320		184,320		184,320		
0		0		0		
572,738		569,660		611,724		
75,176		73,388		126,872		
75,176		73,388		126,872		
0		0		0		
142,689		157,896		157,896		
0		0		0		
142,689		157,896		157,896		
32,210		32,210		32,210		
322,663		306,166		294,746		
12,757,337		12,896,967		13,022,348		
11,892,088		12,014,284		12,081,328		
6,186,295		6,289,061		6,391,827		
2,494,385		2,515,624		2,556,731		
100,000		150,000		150,000		
3,591,910		3,623,437		3,685,096		
2,934,962		2,971,004		2,995,923		
1,499,738		1,518,234		1,531,048		
1,888,814		1,914,214		1,921,908		
1,180,987		1,191,922		1,202,857		
833,041		791,029		721,941		
48,976		48,976		49,729		
433,765		486,487		639,097		
34,937		32,319		139,299		
0		0		0		
398,828		454,168		499,798		
0		593		1,854		
12,325,853		12,500,771		12,720,425		
431,484		396,195		301,922		
431,484		395,602		300,068		

《経営指標》

区分	年度	第2次改革プラン		28年度		29年度	
		27年度 (実績値)	28年度 (計画値)	28年度 (実績値)	29年度 (計画値)	29年度 (実績値)	
特別 損 益	1. 特別利益(D)	0	2		2		
	うち他会計繰入金	0	0		0		
	不良債務解消分	0	0		0		
	その他	0	0		0		
	2. 特別損失(E)	315,687	324,135		340,549		
特別損益(D)-(E) (F)	-315,687	-324,133		-340,547			
純損益(C)+(F)	111,789	48,792		25,881			
累積欠損金(G)	804,740	755,948		730,067			
新病院建設に伴う経費		0		0			
※純損益(新病院影響抜き)	111,789	48,792		25,881			
※累積欠損金(新病院影響抜き)	804,740	755,948		730,067			
不 良 債 務	流動資産(A)	5,792,261	6,477,263		6,837,440		
	うち未収金	2,189,748	2,567,675		2,629,370		
	流動負債(I)	1,874,561	2,107,396		1,939,232		
	うち一時借入金	0	0		0		
	うち未払金	964,727	1,068,020		925,079		
	翌年度繰越財源(U)	0	0		0		
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (I)	0	0		0		
	差引 不良債務(O) (I)-{(A)-(U)}	0	0		0		
累積欠損金比率 $\frac{(G)}{a} \times 100$	6.8	6.2		6.0			
不良債務比率 $\frac{(O)}{a} \times 100$	0.0	0.0		0.0			
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	103.6	102.1		101.7			
地方財政法施行令第19条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	-3,917,700	-4,369,867		-4,898,208			
資金不足比率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	-33.2	-35.9		-40.3			



新改革プラン						成 果
30年度 (計画値) (実績値)		31年度 (計画値) (実績値)		32年度 (計画値) (実績値)		
0		0		0		
0		0		0		
0		0		0		
0		0		0		
317,558		23,448		23,448		
-317,558		-23,448		-23,448		
113,926		372,747		278,474		
616,141		243,393		-35,081		
0		593		1,854		
113,926		373,340		280,328		
616,141		242,800		-37,528		
6,998,519		6,305,762		9,902,352		
2,632,219		2,661,029		2,686,899		
1,935,402		1,948,475		6,239,270		
0		0		0		
921,249		934,322		5,225,117		
0		0		0		
0		0		0		
0		0		0		
5.1		2.0		-0.3		
0.0		0.0		0.0		
102.5		102.6		102.7		
-5,063,118		-4,357,287		-3,663,082		
-41.6		-35.3		-29.5		

《経営指標》

資本的収支

区分	年度	第2次改革プラン	28年度		29年度	
		27年度 (実績値)	(計画値)	(実績値)	(計画値)	(実績値)
収入	1. 企業債	676,200	200,000		200,000	
	うち新病院建設費分	0	0		0	
	2. 他会計出資金	81,896	62,791		25,000	
	3. 他会計負担金	208,995	202,229		242,443	
	うち基準内繰入金	0	0		0	
	うち基準外繰入金	0	0		0	
	4. 他会計借入金	0	0		0	
	5. 他会計補助金	0	0		0	
	6. 国(県)補助金	0	0		0	
	7. 投資回収金	3,950	1,080		1,080	
	8. 固定資産売却代金	0	0		0	
	9. その他	0	0		0	
	収入計 (a)	971,041	466,100		468,523	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0		0	
前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0		0		
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	971,041	466,100		468,523		
支出	1. 建設改良費	883,847	542,794		457,229	
	うち新病院建設費	0	0		23,176	
	うち職員給与費	0	0		23,176	
	2. 企業債償還金	411,281	397,413		484,035	
	うち建設改良のための企業債分	411,281	397,413		484,035	
	うち災害復旧のための企業債分	0	0		0	
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0		0	
	4. その他	30,720	30,310		38,520	
うち繰延勘定	0	0		0		
支出計 (B)	1,325,848	970,517		979,784		
差引不足額 (B)-(A) (C)	354,807	504,417		511,261		
補てん財源	1. 損益勘定留保資金	351,652	503,211		510,245	
	2. 利益剰余金処分量	0	0		0	
	3. 繰越工事資金	0	0		0	
	4. その他	3,155	1,206		1,016	
	計 (D)	354,807	504,417		511,261	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0		0		
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0		0		
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0		0		

(単位:千円)

新改革プラン						成 果
30年度 (計画値) (実績値)		31年度 (計画値) (実績値)		32年度 (計画値) (実績値)		
0		0		5,951,200		
0		0		5,951,200		
50,239		624,793		772,043		
229,576		227,307		193,376		
0		0		0		
0		0		0		
0		0		0		
0		0		0		
0		0		0		
1,080		1,080		1,080		
0		0		0		
0		0		0		
280,895		853,180		6,917,699		
0		0		0		
0		0		0		
280,895		853,180		6,917,699		
467,168		550,262		7,276,744		
188,284		374,093		7,123,962		
23,176		23,176		23,176		
458,277		453,952		386,074		
458,277		453,952		386,074		
0		0		0		
0		0		0		
30,310		30,310		30,310		
0		0		0		
955,755		1,034,524		7,693,128		
674,860		181,344		775,429		
673,822		179,981		755,583		
0		0		0		
0		0		0		
1,038		1,363		19,846		
674,860		181,344		775,429		
0		0		0		
0		0		0		
0		0		0		